

発声医学療法の可能性



野口千代子 (Chiyoko Nogichi)
日本発声医学協会会長

【抄録】

発声医学療法は発声障害の治療を目的としたものであり、呼吸器疾患あるいはオーラルフレイルについても治療効果が知られています。また、発声医学療法を含めた音楽療法が齢に伴う認知症やうつ病に対する効果が示唆されるようになりました。ここで紹介する発声医学医療は運動(体操)を取り入れた音楽療法であり、副作用がなく身体に対する負担の軽いものです。そこで、対象を老人養護センターの入所者およびデイサービスに通う方に発声医学療法を行いました。その結果、発声とそれに伴う運動が対象者の脳に刺激を与えてくれることが示唆されました。

【略歴】

1956年生まれ 東京都出身
1976年：渡欧 ウィーン国際夏季ゼミナール修了
1980年：ウィーン国立音楽大学大学院発声学科(教育専攻)修士課程卒業
オーストリア国家資格取得
ブルックナー音楽祭ディレクター、文化交流事業を展開
ウィーン大学で医学を学び、講師をしながら多方面で音楽プロデューサーとして活躍
発声学・発声医学専門家 音楽教育家。音楽プロデューサー
東京都教育研修センターキャリア教育講師
公立中学校合唱コンクール客員審査員、など各地で活動
国際ロータリークラブ、国連NGO PPSEAWA、社会保険協会、東京都教育研修センターなど企業講演多数
「身体に良い声・歌」をコンセプトに、一般の人からプロまで発声学の普及と指導、また後進の育成に努めている
著書に『誰でも2オクターブ出るヴォイストレーニング』（平凡社新書）

【所属学会・所属団体】

一般社団法人日本発声医学協会代表

